

春野の昔話 一冊に

静岡文化芸術大の3学生

浜松市天竜区の山間部で、地域に伝わる昔話の調査研究に取り組む静岡文化芸術大の学生がこのほど、同区春野町の昔話をまとめた書籍「春野の昔話と伝説」を出版した。7日、同大で横山俊夫学長に献本した。

書籍には、同区春野町犬居地区で住民から聞き取った昔話や伝説など213話のうち、厳選した62話を収録している。二本松康宏教授が指導する伝承文学ゼミ4年の亀本梨央さん、川口璃穂さん、柴田俊輔さんが1年をかけて取材、制作した。

3人は犬居地区へ20回以上足を運び、70〜90代の52人から話を聞いた。内容を書き起こして精査し、方言など語り手の言葉遣いをそのまま掲載している。地域についての解説もまとめた。

断片的な情報も多く、3人は「事実関係の確認が大変だった」と明かしながら、「次第に地域のことが好きになった」と振り返った。亀本さんは「すてきな伝説やいわれがあることを地元の方に実感してもらいたい」と話した。近く、同市の天竜区長にも献本する予定

犬居地区取材 52人から聞き取り



完成した「春野の昔話と伝説」を手に笑顔を見せる（左から）川口さん、亀本さん、柴田さん＝浜松市中区の静岡文化芸術大

という。二本松教授のゼミでは6年前から水窪地域など（浜松総局・土屋咲花）で昔話の調査を始め、書籍化は6冊目。「春野の昔話と伝説」は600部を制作した（1冊税別千円）。市内の書店やインターネットで購入できる。